

病理診断科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	非腫瘍性消化管穿孔における segmental muscular defect of the intestine (SMD)の頻度
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	病理診断科
研究責任者	(職名)教授 (氏名)都築豊徳
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	なし
研究の意義・目的	SMDは消化管固有筋層が限局的に欠損する疾患であり、消化管穿孔の原因となります。しかしながら症例報告が少なく、頻度や特徴等、不明な点が多くあります。本研究ではそれらを明らかにし、SMDをより確立された疾患にする事を目的としています。
対象となる患者さん	2009年1月から2019年11月までに消化管穿孔と診断された患者さん
研究の方法	一宮市立市民病院との多施設共同後方視的研究として行います。診断時に作成されたHE組織標本を再検討します。また電子カルテを用い、年齢、性別、既往、病歴等の情報を収集します。これらのデータをもとに、消化管穿孔におけるSMDの頻度、特徴について解析します。収集された情報は匿名化され、対応表は病理診断科には渡りません。 研究が始まった後でも、いつでも不参加の意思を伝えていただくことができます。不参加を申し出られた場合でも、何ら不利益を受けることはありません。不参加を申し出られた場合は研究対象から外し、検体と患者情報は共同研究施設に速やかに返却します。 希望があれば、研究計画の内容を見ることができます。下記問い合わせ先まで御連絡頂ければ対応致します。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2021年3月31日
研究に用いる試料・情報	試料：HE組織標本 情報：年齢、性別、既往、病歴
外部への試料・情報の提供	なし

試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 病理診断科 担当者：教授 都築豊徳 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 37424）